

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	・目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			
水質調査結果	詳細結果	<p>基本監視地点</p> <p>基準値 St.1~4:SS=7mg/l</p> <p>・基準値を超える値が2回観測された。 ・13日午前にSt.1で8mg/l、13日午後St.4で7.1mg/lの基準値を超える値が観測された。</p> <p>工事現場周辺監視地点</p> <p>基準値 St.5~13、17~20: SS=11mg/l</p> <p>その他の監視地点 基準値 St.14~16:SS=11mg/l</p> <p>流入水路部 St.A, St.21, St.22</p>	<p>・観測された濁りは前日(12日)からの降雨や強風による波浪、当日(13日)のうねりなどが影響しているものと考えられる。 ・また、その他の監視地点や補助監視地点の値が低いことから、工事由来の濁りではないと考えられる。</p> <p>・St.12での比較的高い値の要因は特定できていない。(当日は浚渫工事を実施しているが、より工事箇所に近い周辺での観測値では高い値は確認されていないため、工事による影響は考えられない)</p> <p>・工事現場周辺監視地点では全て基準値を満足していることから、波浪や低潮位時における底質の巻上げなどが影響していると考えられる。 ・工事由来の濁りは観測されなかった。</p> <p>・降雨や生活排水による流入水路からの濁水の流入や波浪による底質の巻上げなどが影響していると考えられる。 ・工事由来の濁りは観測されなかった。</p>	・特に無し
	気象概況	<p>監視地点において異常値が観測されたのは、12、13、21、31日であった。</p> <p>・12日は南よりの風が強く(最大風力5)、13日は海域全体でうねりが観測され、降雨量は両日合計145mmであった。</p> <p>・21日は北よりの風が強く(最大風力4)、降雨が1mm観測された。</p> <p>・31日は南よりの風が強く(最大風力4)、降雨が43mm観測された。</p> <p>(※最大風力は調査員による現場観測値)</p>		
	補足項目調査結果	<p>・H17年度環境監視計画に基づく「補足項目(新種等)」に関する年間調査計画は以下のとおり。</p> <p>ウミヒモ類監視調査: H17年4月・7月・9月(台風後)・11月・H18年2月 ニライカナイコウナ調査: H17年4月・7月・9月(台風後)・11月・H18年2月 オサガニヤドリガイ監視調査: H17年4月・5月・6月・7月・8月・9月(台風後)・11月・H18年2月 オキナワワラガニ生息監視調査: H17年4月・7月・8月・9月(台風後)・11月・H18年2月</p> <p>・結果についてはホームページにて公表中。</p>		
	工事実施状況	<p>海上汚濁防止膜設置及び撤去: 16~25日(合計10日)</p> <p>海上石材投入、均し: 4~6、9~11、13、16~18、21~27日(合計17日)</p> <p>盛砂採取、設置: 4~11、13~20、22~27、29、30日(合計24日)</p> <p>浚渫作業など: 24~27、29~31日(合計7日)</p>		